

地域計画

策定年月日	令和7年3月25日
更新年月日	()
目標年度	令和15年度
市町村名 (市町村コード)	唐津市 (41202)
地域名 (地域内農業集落名)	野元 (野元、鬼木)

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	48.0 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	42.4 ha
② 田の面積	20.8 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	24.7 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	0 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	0 ha
(参考) 区域内における70才以上の農業者の農地面積の合計	－ ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	－ ha
(備考)	

(2) 地域農業の現状及び課題

本地域は、中山間地域等直接支払事業を活用した集落協定があり、農道や水路等の管理を行っている。現状、地域内在住の認定農業者はおらず、数名の農業者が水田を中心に耕作している。将来の意向が現状維持または規模縮小傾向にあるため、担い手の確保が重要な課題となっている。また、農地を守るための手段として、防護柵等でイノシシ対策を行っているが、近年は十分な効果が得られておらずイノシシに侵入されているので、もう一歩踏み込んだ方法を検討する必要がある。

【地域の主な基礎データ】

地域の農業者: 18人(認定農業者3人、利用者: 15人)

作物: 水稻、みかん、野菜など

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

農地の耕作は、現在の耕作者が引き続き行う。地域の特産物である水稻については、担い手に団地毎で連続的な耕作ができるような農地の集約に努め、中山間地域等直接支払事業を活用しながら農業用施設の管理を行い、地域と担い手が一体となって農地を利用していく。また、地域外の有害鳥獣駆除員とイノシシの目撃情報等を共有することで、より効果的なはこ畠の設置場所を選定し、地域からは補助員を出して連携体制の構築を行う。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
離農や規模縮小のタイミングで、現在の担い手への農地の集積・集約化を行い、並行して担い手の農作業に支障がない範囲で農地利用者による農地利用を進める。			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	1	%	将来の目標とする集積率
			1 %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			
担い手となる農家を中心に集約化を進め、目標集積率の達成を目指す。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
居住区に近い水田は棚田になっているため、団地毎で担い手への集積と集約に努める。畑地については、個人で管理を続けていく。
(2)農地中間管理機構の活用方法
地域としての積極的な活用方針はないが、耕作利便向上のための農地貸借を実施する際は、活用を検討する。
(3)基盤整備事業への取組
取り組む予定はなし。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
農地の形状等の問題もあり、地域外からの積極的な経営体の呼び込みは行わないが、要望があれば柔軟に対応する。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
地域内の住民に草刈り等の依頼を行っているため、現時点での活用方針はない。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

☒ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☐ ③スマート農業	☐ ④畑地化・輸出等	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☐ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨耕畜連携等	☒ ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

①将来的には地区内で有害鳥獣駆除員を育成するのが望ましいが、まずは近隣の有害鳥獣駆除員と連携するなどして、はこ罟の設置数を増やすところから始めたい。

⑩地域計画及び目標地図の変更が必要となる場合は、適宜協議の場を設置することを基本とするが、住民負担の軽減を図るため、生産組合の会議を活用して変更案の内容協議や意見の取りまとめを行うなど、簡易な方法による協議を行うことができるものとする。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 15 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
認農		水稻、いちご	0.2 ha	0 ha	水稻、いちご	0.2 ha	0 ha	1	
認農			0.3 ha	0 ha		0.3 ha	0 ha	2	
認農		水稻	0.2 ha	0 ha	水稻	0.2 ha	0 ha	3	
利用者		水稻	0 ha	0 ha	水稻	1.3 ha	0 ha	4	
利用者		水稻	1 ha	0 ha	水稻	0.9 ha	0 ha	5	
利用者		水稻、甘藷、野菜	7.2 ha	0 ha	水稻、甘藷、野菜	7.1 ha	0 ha	6	
利用者		水稻	0.4 ha	0 ha	水稻	0.4 ha	0 ha	7	
利用者		水稻	0.5 ha	0 ha	水稻	0.5 ha	0 ha	8	
利用者		水稻	0.9 ha	0 ha	水稻	0.9 ha	0 ha	9	
利用者		水稻、甘藷、らっきょう	0 ha	0 ha	水稻	0.3 ha	0 ha	10	
利用者		水稻、みかん、きんぴら、黒豆、白豆、ナシ	1.6 ha	0 ha	水稻	0.5 ha	0 ha	11	
利用者		水稻	1.1 ha	0 ha	水稻	1.1 ha	0 ha	12	
利用者		水稻	0.2 ha	0 ha	水稻	0.1 ha	0 ha	13	
利用者		水稻	0.2 ha	0 ha	水稻	0.2 ha	0 ha	14	
利用者		水稻	0.3 ha	0 ha	水稻	0.3 ha	0 ha	15	
利用者		水稻	0.5 ha	0 ha	水稻	0.1 ha	0 ha	16	
利用者		水稻	0.2 ha	0 ha	水稻	0.2 ha	0 ha	17	
利用者			1.4 ha	0 ha		1.4 ha	0 ha	18	
計			16.2 ha	0 ha		16 ha	0 ha		

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。
注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。
注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。